

特44

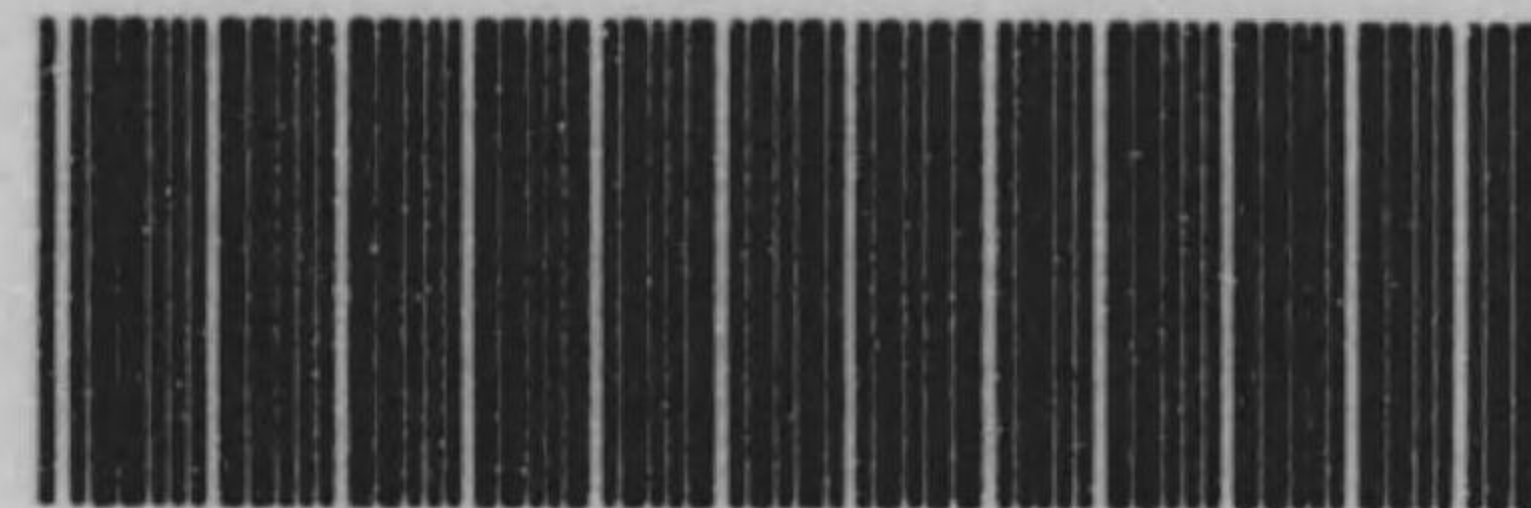
280

23/10

廣東に於いて進展中の

東亞聯盟運動

東亞聯盟廣州分會發行



* 0009983000 *

0009983-000

特244-280

廣東に於いて進展中の東亞聯盟運動

東亞聯盟廣州分會

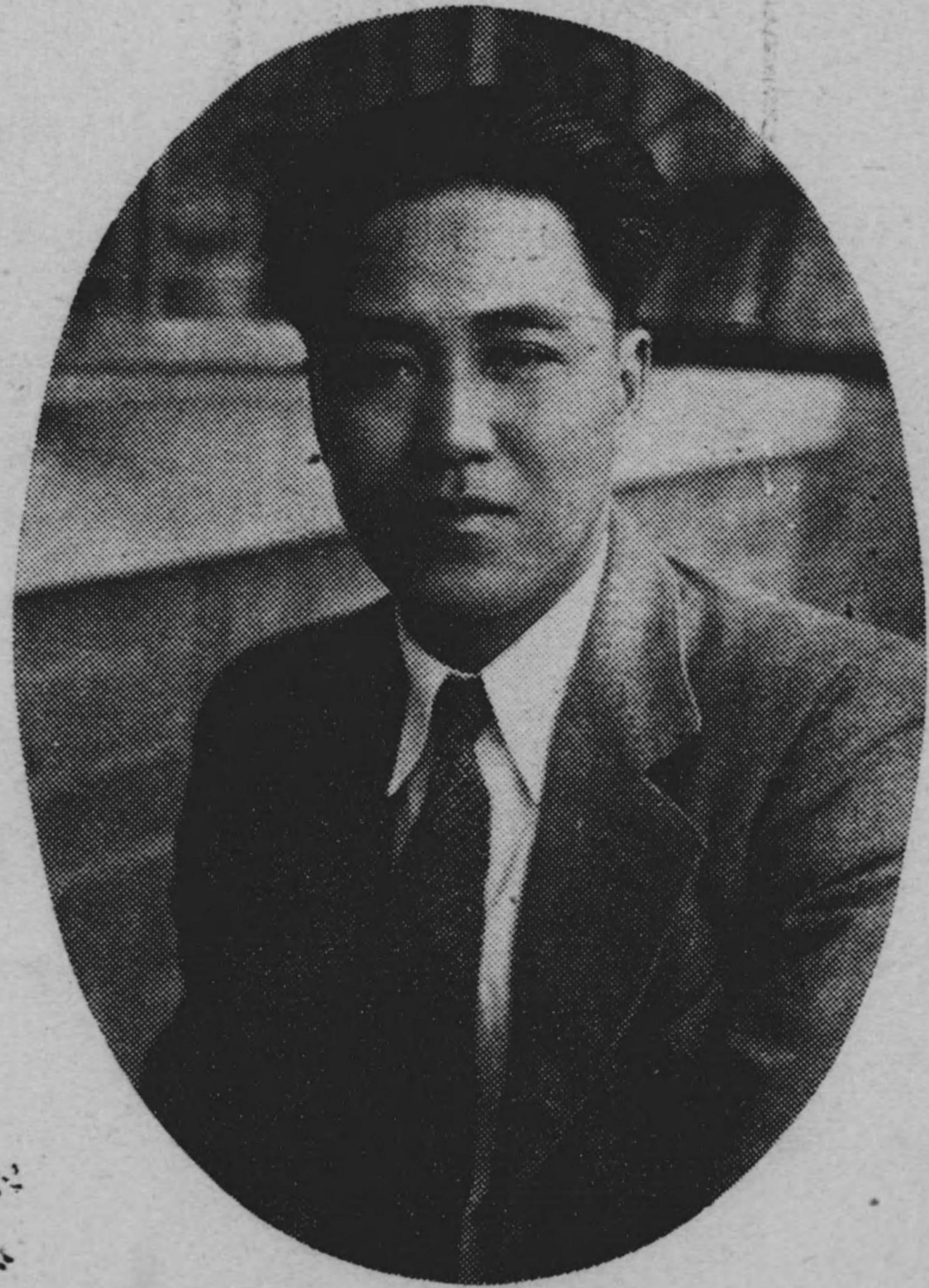
民國30

ABJ

特 244
280



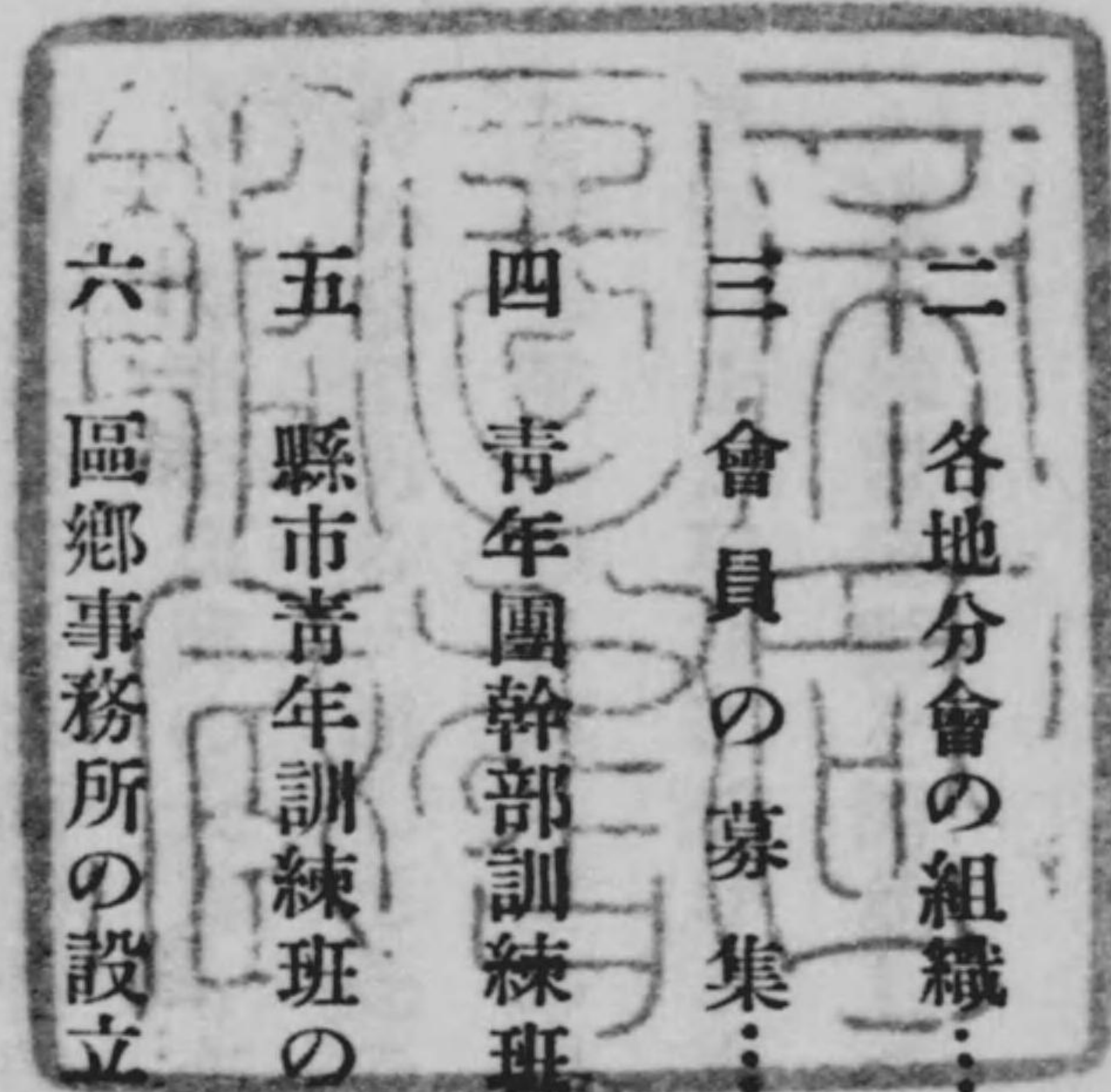
下閣長會汪會總國中盟聯亞東



東亞聯盟廣州分會常務理事兼書記長 林汝新 氏

目次

| | |
|--------------|----|
| 一 緒 言 | 一 |
| 二 各地分會の組織 | 八 |
| 三 會員の募集 | 八 |
| 四 青年團幹部訓練班開設 | 一七 |
| 五 縣市青年訓練班の開設 | 一七 |
| 六 區鄉事務所の設立 | 一八 |
| 七 宣傳方面の活躍 | 二一 |
| 八 會員訓練 | 三四 |



廣東陸軍
特務隊
寄贈本



九 海外會務の進展……………三六

十 廣東學生聯盟の組織……………三八

十一 結 論……………三九



廣東新報 寄館本

廣東に於いて進展中の東亞聯盟運動

一 緒 言

東亞聯盟運動を開始して以來、中日兩國の國交が明朗化することになれるは兩國の有識具眼の士が現在に於ける東亞の立場と時代變轉の動向を明確に自覺して共に大亞細亞主義を以て唯一の目標と定め相提携して東亞新秩序の建設に向つて邁進せんとすることになつたからである。而して此の偉大なる運動は現世紀に於いて歴史的新紀元を劃するものと謂ふべく東亞復興の大業も亦此に其地歩的基礎を置くものである。

現下に於ける國際的情勢の推移を観るに、各國の對立から國家群的對立に轉じ、歐洲民主國陣營と樞軸國陣營とを形成することになつた後、歴史的情勢の變革に伴つて世界は黃白兩大民族的集團を誘起することにならう。則ち將來世界上に人類としての生存的勢力を有

するものは只だ黃白兩民族となり世界新秩序を創建せられるであらうが。此の新秩序は亞細亞民族と歐洲民族とが主體的地位を占むるものなる以上、亞細亞民族は自己民族の共同的發展性と新秩序建設の目的を貫遂すべく一致團結を圖らねばならぬのである。

汪主席は嘗て「國家は孤立することは出来ない、集團的行動を取らざるを得ない」と説いたが、其の高邁達識なる深く時務を解するものと謂ふべきである。是れに因つても亦東亞聯盟の如何に重要性を持つかを知られるであらう。而して此の聯盟運動は單に中日兩國のみが欲求する所たるのみならず東亞各民族が侵略的壓制より脱し解放的發展性を遂ぐるために當面する所の福音的な一大運動である。若し果して東亞各民族が能く聯合奮起するを得たならば、亞細亞民族の集團的勢力を全世界に發揮せらるゝと共に其の各民族的基础も鞏固を加へられることにならう。

又汪主席は「大亞細亞主義は即ち東亞聯盟である」と道破したが、その適切にして正鴻を得た言葉なるを思はしめる。曾て國父孫中山先生は大亞細亞主義を提唱する所あつたが、

其の理想とする根本精神は現在日本の提唱する東亞新秩序と同一にして本來其の意義を相異にするものでない。東亞聯盟は中日兩大民族を以て核心となし亞細亞諸民族を聯結して強靱なる集團を構成し以て歐米帝國主義者霸道主義者の侵略と壓迫とに抵抗して獨立的地歩を確保し、東亞をして復興の行進曲を奏せしめ世界平和の實現に貢献するにある。而して東亞聯盟の條件とする所は、即ち政治獨立經濟提携、軍事同盟、文化交通等の原則を綱領とし以て東亞の復興を圖り、進んで世界平和と人類の福祉に協力し、王道精神を全世界に向つて發揚することに因つて霸道主義を消滅し去るにある、故に其の理想とする根本精神は國父孫中山先生の提唱したる大亞細亞主義と全く其の軌を一にし思想的理念の歸趨する所も同じで背馳する所はないのである。亞細亞民族の復活を圖らんとするには先づ中日兩國に共通の理念を持つ所の東亞聯盟を具體的に實現することに努力を拂はねばならぬ。

歴史的過去と亞細亞の現勢的環境を通觀するならば、亞細亞民族は經濟文化等に於いて

共通の利害を有せざるはなく、その地域的に密接關聯相離るゝを得ざる立場に在るが故に相互に協力するならば共存共榮を生み、之れに反すれば共亡共辱を嘆ずることにならう。故に東亞聯盟運動は東亞を復興する必然の軌道にして、過去に於ける亞細亞を回顧するならば、西洋の功利的強權主義が侵入して以來、南洋一帯地域は殖民地と化し、次いで亦不幸にして中國も次殖民地に陥つた、斯く侵略を受けたる亞細亞民族の積弱不振なりしは互に協力する所なかつたに原因がある。然るに今や亞細亞民族は解放の時機にして黄色民族は自決自救すべき好機である。我等は東亞復興の時機を確と把握して逸することなく東亞共榮圈の確立を圖るため運命的に歩を進めるべきである。此の世界新舊秩序の交替變革期に於いて東亞聯盟の理論は來るべき時代に順應する進展性を保ちつゝ、確固不動の信念の目標となるに於いて東亞復興唯一の道程たるのみならず、且つ又世界新秩序の一環を成すものとして人類未來の幸福を謀る事を創意となし、世界永久の平和に貢献せんとする崇高なる道義に立つものである。要するに亞細亞の諸問題はその何れの角度より見るも東亞聯盟と

密接の關係を有せざるはなく實に東亞聯盟運動は亞細亞民族を解放し復活し、共榮的建設を圖ることに於いて劃期的時代の逞しさを持つ偉大なる運動と云はねばならぬ。東亞聯盟運動は全東亞の民族が同心戮力してこそ始めて完成さるべきもので、この重大なる使命を貫遂するには幾多の艱難を嘗めることであらうが、我等は更に一層力戰苦闘することによつて目的を達することが出来るのである。

我等は中國が久しく西洋帝國主義の桎梏と不平等條約の枷鎖を受くる國恥的現狀を想到するの時、血沸き肉躍り扼腕奮起の念に馳られ、斯る無法にして暴虐なる束縛を解除するために挺身戦はねばならぬとの決意を堅めるものである。

廣東は南支に於ける重要なる地域であり又革命の策源地である、今や新時代は輝やかしか希望に燃えて發程の途に上らんとする際、東亞聯盟の一員とし、國父孫中山先生の提唱せる大亞細亞主義及和平奮闘中國を救ふの遺教を奉じて以て東亞聯盟の偉大なる使命を完成することに努力すべきである。

本會は前述したる理想と目的とを有し、民國二十九年九月九日新時代を劃する使命を負ふて誕生したるものである。最初は名稱を中華東亞聯盟協會と定め林汝珩氏を會長に任じたが、其後本年二月に至り東亞聯盟中國總會成立したるを以て東亞聯盟廣州分會と改名して林汝珩氏が本分會常務理事兼書記長となり、全國的に一致の行動を取り總力を集中して東亞聯盟運動を推進することになった、故に本會の成立は日尙ほ淺しといへども、東亞聯盟運動は早くも全國朝野の注意を喚起するに至り、入會申込者は頗る多く、現在本分會々員は八萬餘人を數へるの盛況に達し、その會員のすべてが智識階級に屬するもので前途の發展性を期待されるものである。是れ本分會の榮譽たるのみならず實に東亞民族の福音とするに足るであらう。

吾人は今後本會綱領に基き、我等の最高首領たる汪主席指導の下に専心努力して所期の目的を達成せんと欲するものである。現在本分會の内部組織としては理事會を設け、王英儒、鄭光薰、陳嘉靄、張伯蔭、陳致平、陳武揚、郭衛民、李家英、陳璞、倫學圃、林朝暉、

梅慶芬等同志を招聘して理事となし、會務處理を便ならしむるために理事會の下に、總務組織、宣傳、翻譯等各組及計劃部、海外會務設計委員會、出版社、畫報社等を分設されてゐる。目下最も重要工作とするは、組織と宣傳とにして、東亞聯盟の各種重要問題の解決にこの思想を各地方民衆の間に普遍的に認識を深からしめんがためには先づ組織方面から着手することとし、其の健全性に主眼を置き普遍的に工作を推進するに容易ならしめるやうにした。而して東亞聯盟の理想とする眞髓を認識させることに於いて宣傳方面に力を注ぐことにしたが、かくして一般民衆の信仰を獲得することが出来るものなるを信じ、本會の成立當初から政府當局に交渉して各縣市に分會（現在支會と改む）を設置する時、その便宜を供與せられんことを要請したのであつた。此點は圓滿に諒解を遂げられ殊に各縣市長が東亞聯盟運動に對し極めて熱心に贊助の意を表しその側面的援助は組織及宣傳工作をして頗る順調に進展せしめたのであつた。

茲に本會が從來實施し來れる諸工作に關する狀況を略述して一般東亞聯盟運動に關心を

有する人々の参考に資したい。

一一 各地分會の組織（現在支會と改む）

本會は東亞聯盟の眞髓を宣揚して民衆に其意義を認識せしむるため各縣市に組織を普及することとし、民國二十九年九月十九日李學餘同志を番禺縣に派遣して分會を組織することにしたが、同年十月十日成立式を舉行するに至り李學餘同志を分會主任となした。汕頭分會は汕頭市長許少榮同志をして準備主任たらしめ之れが準備に着手したるが、十月二十一日成立した。許市長が同分會主任を兼任することになった。成立式の當日は頗る盛況を極め同地の人々は奮つて入會を申込み該分會の發行したる各種宣傳物は甚だ多く相當の効果を擧げてゐる。南海縣分會は民國二十九年十一月十二日佛山に於て發會式を舉行したが、當日參加會衆は一千五百餘人に達し頗る盛會を極めた。同分會主任は南海縣長李道純同志を兼任とし、三水縣分會は民國二十九年十二月十八日成立を告げ、三水縣長張毓英同志が

分會主任を兼任し、中山縣分會は十二月二十日成立し縣長歐大慶同志が主任を兼任したが、本年四月歐大慶同志が辭職したるによつて會務は陳永孚同志が引繼いだ、順德縣分會も亦同日成立して縣長蘇德時同志が分會主任を兼任し、花縣分會は本年一月十日成立し、縣長孫承治同志が分會主任を兼任し、東莞縣分會は本年一月十二日成立し分會主任は縣長盧寶永同志が兼任し、增城縣分會は本年二月三日成立し縣長李耀明同志が分會主任を兼任し、從化縣分會は本年五月十日成立し、縣長李寶安同志が分會主任を兼任することになった。其他潮陽、潮安、澄海、寶安、博羅、新會等諸縣分會は組織準備中にして何れ近く相前後して成立の運びとならう。以上が各地分會成立の概況である。

一二 會員の募集

本會の會員募集辦法は本會の規定たる「凡そ公務員及社團會員にして本會綱領に賛同する者は會員二人以上の紹介を経て本會々員に加入することを得」とあるに遵つて會員の募

集を行つたのであるが、目下の加入會員數は既に八萬餘に達してゐる、會員の加入には本會組織部に於て嚴密なる審査を加へ、合格と認めたる者に會員證を支給するのである。

從來世人の間では本會の會員募集に對し種々の論議を唱へられ、即ち本會は東亞聯盟を構成する國際文化團體たるが故に會員募集には中上層智識階級に限定すべしとの説を成す者があり、又本會の趣旨は聯盟綱領の示す所によつて各層階級に呼びかくべきものたるを以て會員はその階級如何を問はず普遍的に募集するが當然であるとの議を唱ふる者もあり、兩説とも獨自の見解を有するものとし其の孰れが可なるを世人に問ふべく參考に資する次第である。然し本會は成立以來一般的に會員を募集する一方、其の資格を嚴重に審査を行ふこととして併進の方法を採り偏頗に傾かざるやう特に注意を拂つてゐる。勞働者の加入に就いては會務を遂行するに當り、多少懸念を抱く者が無いではないが、縦ひそれが勞働者であるとしても明達熱心の士に乏しからざるは勿論の事であり、同時に之れが訓練を施すことにせば會員として加入するも敢て差支へはないであらう。而して勞働者の本會

に加入を申込み者少くないのであるが、然し審査を極めて嚴重に行ひ、質に於ても亦量に於ても、充分の考慮を拂ふことにしてゐる。故に現在會員の職業を統計的に比較するならば、官公吏は全數の百分の六十、學生は百分の十五、文化界は百分の十、工商農界は百分の十を占むる割合と成つてゐる。

四 青年團幹部訓練班開設

青年は將來國家の柱石となるもので其存在的地位の重要と使命の重大なるは誰しも認むる所にして新中國を更生するに於て青年に對する希望誠に剴切なるものがある。今日の青年は實に東亞共榮圈を建設する中堅人物にしてこの重大使命を負ふところの青年を東亞聯盟運動青年幹部人材として養成するため廣州市惠愛中路百八十二號に東亞聯盟協會青年團幹部訓練班を開設したのである。訓練期間は當分三個月間と定め、陳顯謨同志を班主任たらしめ一切の事務を擔任處理することとした。第一期學生は八十五名にして既に本年二月

卒業した。現在第二期の學生は百十三名にして引續き訓練中であるが、第一期に比し緊張味と充實とを加へ新時代を創造する使命を負ふ所の有爲なる新青年を練成せんことを期してゐる。班内に設けたる學科は東亞聯盟理論を主體となしてゐるが、その學科と受持ち講師は「東亞聯盟建設綱領」は陳嘉靄、「大亞細亞主義」は張伯蔭、「昭和維新論」は張伯豪「社會運動」は傅君勉、「民衆教育」は駱用弧、「國際政治及經濟問題」は陳璞、「演說學」は蕭漢宗、「地方自治及公文用式」は林伯楡、「群衆心理」は陳顯謨、「政治常識」は黃仲麗、「法學綱要」は王少伯、「日語」は何光濤、梁君達、「體育鍛鍊」は倫永漢、吳志謙、「軍事訓練」は招塾等にして、此等の學科は總べて緊要なる教材たるに論なく、各自重大使命を負ふもの、當然具備せねばならぬ常識である。擔任の講師等は相當著名の學者又は専門の研究家を招聘したものである。

本會綱領の實現を促進するために思想の純一化、行動の紀律化、信仰の集中化を謀り以て任務遂行に無畏の精神を喚起し更に中日兩大民族の生存的重要性を正確に認識し、國際

情勢の動向と東亞聯盟結成の自然性と必要性とを明確に認知せしむる見地の下に學科訓育を施す外、精神鍛鍊と軍事訓練とに重點を置くことにして左の如き訓育方針を定められた。即ち思想方面にては、和平反建國の國策及東亞聯盟の必要性に認識を深からしめ青年の負ふ所の責任の重大なるを自覺して國家社會及新東亞の建設に對して滅私奉公の精神を振起せんことを以てするにある。行爲方面では崇高なる人格と良好なる習慣を涵養し、自治能力を養成して勤勞奉仕に歡喜心を生ぜしめ、浮華輕佻の行爲を慎み、強健なる體格の鍛鍊高尚なる學問の研究、創造精神の獎勵、正當なる娛樂の提唱、合理的消費と貯蓄の指導、公共衛生の注意等を主とし、實行方面にては、特に起居日課表を製作し學生をして實踐せしめ放逸に流るゝが如きことなきやうにするため、午前六時三十分起床、直に體操或は褚民誼氏の太極操又は班外駢足を行ふ、國旗掲揚式に参加したる後班主任の精神講話あつて各學生に日中の作業と生活とを指示する、朝食後休憩して、八時の學科開始より一時三十分に至り晝食のため休憩となる、午後の學科を開始して四時三十分放課となり、夕

食して入浴を行ふ、夜間は課外作業を営まる、が、少數にて研究会、座談會、討論會、演說練習會等を開催する場合の如きもすべて指導員が一切の責任を負ふて指導に當つてゐる。又大人數を組に分ち討論會等を舉行する時には特に一個の中心問題を提出して、その概要に關して説明を加へたる後、各學生は夫々、熱辯を揮つて獨自の意見を述べるのであるが斯る討論會は相互に啓發せらるゝ所多く、集思廣益の效を得せしむるに大なるものがある。課科作業終了後は睡眠時間にして、かくて一日の生活を終るのである。

班内には教室、寄宿舎及討論、研究、座談等各室を備へて學生の修業に充て、大禮堂、球場は遊息の場所としてゐる。其他事務室、職員寢室、教授控室、治療室及賄所、浴室、便所等を設けてある。尙ほ中日各新聞雜誌、書籍等を備付け學生の智識増進に資することにしてゐる、學課の餘暇には學生の組織する自治會を指導して其の自治能力を助長し、壁新聞を發行して學生間に自由に思想と言論を發揮する機會を與へ、又同學會を設けて第一二兩期新舊學生の友情交歡に充て、各種の競技を催はして學生の勉學向上の心理と興味と

を助長することにしてゐる。更に又本會理事或は著名の學者に毎週一回講演を依頼して學生の智識を増進せしめ、和平反共建國の眞意義及東亞聯盟の眞髓に對し一層理解を深からしむることにしてゐる。本班は思想訓練の機關たるを以て一切の設備は主として訓育方面に重點を置き、「訓育實施方案」を作製し系統的に實施する心得となしてゐる。即ち其の内容は訓育の原則、訓育の方針、訓育の實施、組織及分配等を包含してゐるが、實施方面に關しては訓育方針の原則に據り計畫と一致する措置を講じ、集體訓話、個別談話、個性考察、生活指導、秩序訓練、紀律訓練、禮節訓練、體格訓練、軍事訓練、勤勞奉仕、實習等の如き務めて學生の身心健全なるやう練成してその將來擔當する所の任務の遂行に確信を得せしむ、生活の調節、體格の鍛鍊及見聞の増廣を圖るために時々野外運動、或は短期旅行、或は機關團體の參觀、又は社會奉仕に参加し、並に巡回宣傳、街頭演劇等を催はして民衆の注意を喚起する工作を行ふことにしてゐる。特に土曜日の夜間は課外時間を利用して遊藝演說大會を開催することあるが、各方面の參觀を歓迎するものにして一般民衆に娛

樂を享受せしむると同時に東亞聯盟に對する正確なる認識を興へんとするにある。

學生は概ね二十歳乃至三十歳の青年にして一部の試験合格を経た優秀者を除き、其他は各縣市政府より依托された者もあり、各機關團體から依託された者も加つてゐてその學歷は高中卒業或は同等の學歷を有する者が多數を占め、大學を卒業し或は中途退學の者も少くない。學生の大多數は官公吏、各團體、軍隊、學校等に奉職する者にして相當の事務的經驗を有してゐる。

本班の組織は班主任一人を置き、一切の事務を處理し、主任の下に指導員二人を設け、教務、訓育事項に關する責任を負ふ（其下に教務幹事、訓育幹事各一人を置く）總務長一人を置き、會計、庶務、文書等の事項を擔任す。（其下に事務幹事一人を置く）醫師一人を置き保健衛生の事項を擔任する、尙ほ各種委員會として民衆教育實驗委員會、社會運動研究委員會、生活指導委員會、體育研究會、學術研究會、音樂戲劇研究會等を設け、學生の社會各方面に對する研究的興味を喚起することにしてゐる。

第一期學生は卒業後、東亞聯盟各縣分會幹部又は各機關職員に奉職したる者を除き、社會運動指導委員會廣東省分會により各縣市駐在員及事務員に依囑された。番禺、南海、順德、中山、花縣、從化、增城、三水、新會、汕頭等の九縣一市に於ては彼等が双方の任務を負ふてゐるが、社會運動と東亞聯盟運動とは相互密接の關係を有するからである。目下東亞聯盟運動は積極的に進展を圖りつゝあるが、社會運動指導員が直接之れを擔任するものにして、その任務たるや頗る重大と云はねばならぬ。

五 縣市青年訓練班の開設

廣州市に青年訓練班を開設したる後、その成績の良好なるに鑑み、各地方の青年を訓練することが、刻下の必要事なるを痛感したのであつた。各縣市青年訓練班は、この時代的要請に應じて開設することになつたものであるが、此の各縣市訓練班は總べて同一の目標、同一の計劃の下に開設せられ或は準備中に屬してゐるが、東莞、順德兩縣及汕頭市の青年

團幹部訓練班は既に設立を見るに至り、中山、南海、番禺等各縣にも逐次設立して以て特に訓練養成したる幹部青年が直接各縣農村に入り込み東亞聯盟運動を推進せんことを期するものである。斯る鬱勃たる現象は東亞聯盟運動の飛躍的發展を表明するものなると同時に青年が新時代に對する深き認識を有し、東亞聯盟運動に熱烈なる同情を表するばかりでなく更に一步を進め積極的に此の運動に参加する熱意となり、使命の完成に一層の努力を致さんとするにある。今回各地方に青年訓練班が逐次開設される機運が熟しつゝあるは新中國を建設せんとする偉大なる精神を表現するものと云はれるであらう。

六 區鄉事務所の設立

本會に於ける上層組織は既に概ね完備する所あつたが、更に各地各層に健全なる機構を作成するために特に各縣市支會區鄉事務所組織辦法を制定して各支會は本年五月十五日迄に區鄉事務所を設立することにしたのである。各區鄉事務所理事の人選に就いては各支會

より當該行政區の區長、鄉鎮長、民間團體幹部及熱誠なる人々に就任を請ひ、此等智能の士によつて會務の進行を謀ることとしたるが、理事中より幹事一人を指定、常に事務所に出勤して日常の會務處理に任ずる、而して幹事には本會青年團幹部訓練班卒業者を充て、其の修學せる所に基つき東亞聯盟の理想を具現する工作の實行に當らしめる、現在各地支會では區鄉事務所の設立を終り夫々工作を開始してゐる、本會が各區鄉事務所を開設したる最大なる理由は次の二項を擧ぐることが出来る。

第一、區鄉の大半は地理的に非和平區域に連接してゐるが故に和平區民衆の眞理と正義とを以て非和平區域に在る民衆を吸收することを期待するものにして實に良好適切なる辦法と云ふべきである。各縣區鄉事務所は現に全部成立を見たが、區鄉事務所管下に在る民衆は東亞聯盟の同志たる資格の下に政府に協力することによつて治安の確立、生産の改善等を謀り個々に堅強なる模範的單位を形成せんとするにあつて非和平區域に在る民衆といへどもその安居樂業を實際に見聞することに於て歸服し來るは當然にして日を趁ふて漸次

増加するを信じて疑はぬ。

第二、蔣政權及共產黨の逆宣傳による誘惑に對抗するため、區郷事務所の設立を企圖したるものにして是れ亦健全にして有效なる辦法だと云ひ得る、蔣政權及共產黨の宣傳なるものは單に抗戰區域内の人民のみを對象とするものでなく、その毒鋒を肆にして和平區域内に在る民衆の心理をも惑亂せんとするにあるを知らねばならぬ、故に區郷事務所の設立は重慶及共產黨側の逆宣傳に對抗するにあるは勿論とする所で、その實效を收むるためには各區郷事務所管下に在る會員の手を借ることが最も必要なのである。即ち本會の發行する各種宣傳物、東亞聯盟及和平建國のポスター標語等は、その一枚宛でも抗戰區域内に搬入するためには此等會員の力を借らねばならぬことを知られるであらう。

斯くして漸次華僑及重慶側へも及ぼすことにし、彼等の心理を改移轉向せしめ抗戰力を衰滅することゝせば、蓋し其の效果たるや頗る大なるものがあらう。

七 宣傳方面の活躍

本會の組織は既に完備せることゝて有效なる方法で宣傳工作に着手し、東亞聯盟運動の思想と理論とを民衆の間に普及して實際的效果を收むることが最も肝要とされるところである、故に本會成立の當初、「宣傳綱要」一篇を編製して以て本會及各支會に於ける宣傳工作の準繩規範となしたが、その綱要は次の如くである。

(甲) 趣 旨

東亞民族の人種、文化、地理、歴史等關係を根據として東亞各國の國情を闡明すれば中日滿三國は絶對的に相提携して共存共榮の可能性と必然性とを有する、東洋固有の王道精神及相互尊重の平等原則に基づき、政治の獨立、經濟の提携、軍事の同盟文化の交通を實行して東亞聯盟の使命を完成せんとす。

(乙) 方 法

- 一 宣傳に關係を有する各團體及組織たる新聞社、通信社、放送局、文化機關、教育機關、民間團體、劇團、映畫館、娛樂場及政府機關中にて從事する宣傳工作等の如きに對しては密接なる連絡をなす。
- 二 宣傳員は民衆組織及海外華僑の間にも入り活動に従事すべし。
- 三 宣傳効果を増加するため、必要の時には一切の宣傳運動を側面的に或は秘密的になすべく本會の名義を用ゆることを避くるを得。

四 中國の衰亡歴史と今日中國の環境及民衆の要求とを詳細に検討を加へ、東亞聯盟運動が時代的意義を有することを説明すると共に此種運動が目下中國大多數民衆の要求に適合するものなるを證明する。

五 今日中國の政治、經濟、文化の危機を嚴密に検討し、本會の標榜せる政治獨立、經濟提携、軍事同盟、文化交流の四大綱領は實に中國復興の指針たるを肯定すべし。

七 中日基本關係條約及中日滿共同宣言と東亞聯盟運動精神とは決して背馳するものに

あらざるを指摘、一般民衆をして條約の履行及中日滿三國の相互關係に對し明確の認識を具有せしむ。

六 汪主席は中國の政治上唯一の中心首領にして、本會々員各界民衆は一致團結以て唯一の中心首領指導下に和平反共建國の工作に従事し以て東亞の復興を促進する。

八 赤白帝國主義者の壓迫、中國を搾取する野心と事實を摘發して、今日中國の國際上に於ける地位を示し、事毎に歐米及蘇聯の鼻息を仰ぎたるによつて現代的獨立國家の資格を喪失したるを説明し、東亞聯盟が新中國再建のため實に一貫せる不可分の連環事實たることの主張を強調する。

九 今次の中日事變は双方共人力物力の損失たるのみならず實に東亞に於ける一大損失なるを説明し、東亞聯盟の基本精神を行ふべく、積極的に文字及口頭宣傳を以て抗戰到底を主張する迷夢妄想の分子を反省する所あらしめ、東亞聯盟運動に於ける前途の障礙を除去する。

(丙) 理論的基礎

- 一 孫中山先生の提唱せる「大亞細亞主義」の啓示を根據とし、日本は東亞新秩序を建設する目標となした。東亞協同體の理論により東亞民族を闡明し、真正友好の態度を以て共に提携して東亞聯盟を結成する。
- 二 共產主義は東洋民族の生活條件に不適合なるを指摘すると共にその東亞に禍害を及ぼし民衆を荼毒する罪惡を列擧し、今次中日事變の擴大したるはその背後に於いて第三國際の魔手が操つたものなるを説き、中日兩國の徹底的提携を謀らんとするには必ずや、根本的に中國共產黨を打破して共產主義思想を一掃し第三國際の赤化陰謀の撲滅を達成するにある。
- 三 中日兩國の合作を謀らんとするには、その先決條件として兩國が緊密に團結して善隣敦睦の誼を厚ふし、聯盟を結成して共同協力、歐米帝國主義の經濟、政治、文化等の侵略に抵抗することに於いて、始めて東亞民族の徹底的解放を實現し得る。

四 中日兩大民族の理知的隔膜、感情の誤解により今次歴史上未曾有の敵對行爲を醸成せるものなるを以て今後は特に兩國民の感情の融合、文化の交通に注意を拂ひ、東亞民族の新文化を創造して中日兩大民族を和協の域に達せしむべきである。

(丁) 工作の分類

一 文化界方面

本會に同情する權威ある學者の潜心研究に成れる各種の文化的圖書を編纂刊行すると同時に日本文化界と緊密なる聯絡を謀り、東亞新文化の基礎を創造する。

二 青年方面

組織を有する青年幹部が社會青年思想の検討に従事することによつて、各種の有益なる青年に對する學問修養に資する圖書を編纂刊行して、東亞聯盟の理論を注入し一般青年智識階級をして、直接間接に本會工作の推進に助力せしむ。

三 工人方面

各種企業に於ける労働階級の有力分子は、本會の工作に参加して東亞聯盟運動を下層階級に宣傳することによつて工人の智識程度に適合する各種の圖書を編纂刊行して、中日兩國相互提携の原則を注入することとし、逐次生活の改善を謀ることに協力して以て本會の力量を増厚する。

四 専門學者方面

各種の専門人材と學者の参加により東亞聯盟に於ける各種問題に關して研究したる資料を各専門的に集成して編纂刊行することによつて東亞民族團結の理論を提唱すると共に各種専門學術研究の成績を發表して東亞聯盟指導原理の創建に従事す。

五 各團體及宗教方面

各既成團體の中堅人物及各宗教の傑出せる人物は各その團體、宗教の内部に於て東亞聯盟理論の宣傳に従事して、本會の現在環境に於て擴大強化の必要なるを明らかならしめると同時に各種圖書を編纂刊行し、各種社會組織の歴史及情況を研究し、各その

團體工作の動態を發表して、合理的の指導を行ふ。

(戊) 資 材

- 一 言語、講演會、座談、討論會、研究會等
- 二 文學、傳單、標語、歌謠、月刊、叢書等
- 三 圖畫、畫報、壁報、廣告、挿繪等
- 四 演劇、白話劇、映畫舞臺劇、假裝表演等

(己) 附 則

本綱要は本會及其他各地支會に於て之れを適用する。一年以來、前述せる綱要に定むる所の方策に基づいて宣傳工作に従事したのであるがその具體的事實の擧げ得るものは左記の數項である。

甲 本會方面

「東亞聯盟」と題する月刊の機關雜誌を發行してゐるが、内容は専ら中日關係及東亞問題

に關して學理的討究をなすものにして立論嚴正、理論明晰なるによつて多く讀者及會員の歡迎を受け、實に南支方面に於ける唯一の東亞聯盟運動を宣傳する純理論的刊行物である。尙ほ本會は畫報が絶大の宣傳力を有するに鑑み『東亞聯盟畫報』を發行してゐるが、之れも亦月刊にして内容は繪畫、漫畫、文字の各種に分ち、趣味と寫實とに重きを置き、民衆の間に普及せしむるやうにしてゐる。本年一月一日發刊以來、大いに各方面より歡迎を受け、發刊毎に國內外各機關團體に寄贈する外販賣する部數も増加しつつある。第一號は三千部を印刷したが、其後毎號共増刷して現在に於ける發行部數は六千餘部に達してゐる目下經費を捻出して發行部數の増加を謀ると共に内容を充實して廣く宣傳に供せんことを考慮してゐる。

月刊誌たる「東亞聯盟」の純理論的な刊行物だけでは、民衆の間に普及することの困難なるを感じ、廣東中山日報社と協議せる結果、同報に於て毎週「東聯週刊」と題して發行することゝしたが、その内容は通俗簡易なるものとし之れが發行の日は尙ほ淺いけれども、

極めて各方面の注目を惹いてゐる。

此外、本會は更に多種に亙る叢書を發行してゐるが、最も主要なるものは「東亞聯盟建設綱領」にして此書の原文は頗る長く、日本東亞聯盟協會の出版する所にして日本文より翻譯したるものである。翻譯と出版との時間關係により上、中、下の三卷に分ちて發行する豫定にして既に出版せるものは上、中の二卷で下卷は近く出版の運びとなる。

如何にして東亞聯盟の建設に着手するか最も緊要の問題にして内外各方面の大いに注目する所で論議も頗る多いのである。唯東亞聯盟の建設は綱領に明示してある政治の獨立、經濟の提携軍事の同盟、文化の交通の如きは、國父孫中山先生の提唱せる大亞細亞主義と其趣旨を同じくし、復た近衛聲明の三原則及國民政府所定の和平反共建國國策の精神とも吻合して間然する所なく實に東亞新秩序を建設する順正穩健なる徑路である。會員諸君及内外人士が東亞聯盟建設綱領なる一書を熱心に研究を遂げ更に完備せる理論に仕立て上げんことを希望する次第にて東亞聯盟運動をして絶大なる力量を發揮せ

しめんことを願望する。

本會では「建設綱領」の外、宣傳の參考資料としてすべて十二種を編纂した。尙ほ内外の人々の東亞聯盟運動に對し又之れと關連を有する言論に就いては、本會は極力搜集して各支會各會員に宣傳上の參考資料として分配する。

以上は刊行物に關して略述せるもので、其他宣傳活動に關して記述すべきものが尙ほ殘されてゐる、即ち次の如し。

一 壁 畫

一年以來、廣州市内に於ける道路の牆壁上に描ける壁畫は五十有餘にして其中、文字に屬するもの(中日條約全文、東亞聯盟標語等の如し)凡そ三十餘、其他は東亞聯盟及中日滿親善提携の意義を宣揚したる色彩を施した漫畫なるを以て兒童走卒といへども一見して能く其の意義を理解し宣傳的効果を收むること頗る大なるものがある。

二 ポスター、標語

各支會に於ける宣傳上の必要に應ずるため、本會は各種の簡易なる文字及鮮明なる圖案とで、ポスター、標語等十餘を作り合計五十萬枚を印印した。此等のポスター、標語は本市にて撒布又は貼布したる外、其大部分は各支會に分送して民心の鼓舞收攬に用ゐ、顯著なる効果を收めた。

三 論文募集の舉行

青年層は將來社會上に於ける中堅人物たるを以て東亞聯盟運動の理論及實踐に就き、之れが研究を獎勵することによつて東亞聯盟運動の促進を圖ることは實に現下に於ける重要なる命題とする所である。故に本會宣傳部は之れを實行に移すため、本年五月一日より毎月一回中等以上の各學校學生に論文募集を舉行するに決定した。本會は東亞聯盟運動と關係を有する各種の課題を定め、各學校學生は自由に募集に應ずることとした。毎期に於ける論文應募の結果を見るに應募學生は二百名以上に達してゐるが、その志氣の潑刺たる實に青年學生層が東亞聯盟運動に對し、更に一層の認識を加

該支會より具申したる「小學東亞聯盟中心教育實施大綱草案」の説明によれば、右の通俗叢書は平易通俗なる文字を用ゆるを旨とし大衆的常識讀物とする外、高等小學校の歴史、地理、公民等教育の補習教材の用に供することが出來るとなしてゐる。又該支會には「政治獨立與民族意識」「爲中日條約簽訂告同胞書」「東亞聯盟之歌」なる三種のパンフレットを發刊してゐるが、其の積極的宣傳には大いに見るべきものがある。

八 會員訓練

會員の訓練實施に關しては、堅強なる會員を單位となし、全力を盡して東亞聯盟運動の進展を助力せしむるを願望することとして本會同人の最も關心事となしたる問題であつた。

故に本會は成立の當初、會員訓練暫行辦法を制定したが、本文は左の九項である。

一 本辦法は本會規約に照らし講演會、研究會、講習會、座談會等を開催するを以て會員訓練の原則となす、各會員をして活動の知能を具有せしめ東亞聯盟を完成するを使命と

せんことを期す。

二 講演會、研究會、講習會、座談會の組織は、各機關學校團體及區鎮行政機關を以て單位となし、開催期日は當地會部に於て決定し各機關學校團體及區鎮行政機關に通牒して之れを召集す。

三 各機關學校團體にして上記各會を開催せんとする時は、先づ當地會部に豫定したる題目を前以て通知し準備に資せしむ。

四 各機關學校團體にして上記各會を開催せんとする時は當地會部より職員を參加出席せしむる、若し講演會にして各界の名士或は理事高級職員を招聘して講演を行ふに於て規模の稍大なるものは豫め協會に報告して指導を請ふべし。

五 講演會、講習會の性質は、本會綱領を闡揚して和平運動を促進し以て東亞聯盟を結成するを本旨となす。

六 研究會、座談會は東亞聯盟の各個問題が收るところの策略及會務の推進方案を研究討

求するにあるが、若し座談會を開く時は當地會部より職員を參加させ會務概況を各會員に向つて報告すべし。

七 上記各會は一機關學校團體及區鎮行政機關毎に毎月少くとも二回開催すべし。

八 上記各會を開催せんとする時は、期日、時間、開會場所、幹部及主要なる參加人名、出席人數、各人の講演題目、座談の研究題目を協會に詳細報告すべし。

九 本辦法は頒布の日より施行すべし。

本會及各支會は上記の辦法規定に據り、毎月講演會、研究會、座談會等すべて二回以上開催した。各地會員は極めて熱心にして參加人數も多く且つ自發的に各種の意見を發表せること等特に注目し値するに足り、之れが詳細なる活動經過狀況は本會の會報にて逐次報告せるを以て茲に再び贅述することを避く。

九 海外會務の進展

本會の成立以來、海外よりの歸國華僑は、風を聞いて續々加入する狀況にして本會は海外に於ける會務を進展するため特に海外部を設けたが、其後海外會務設計委員會と改め華僑に對し宣傳、調査、組織、聯絡等の事項を進めたのであつた。海外部の成立した去年十月頃代表三名を泰國、安南に派遣して會務の進展を圖ることとし、十月九日廣州市出帆の汽船に搭乘して先づ泰國の盤谷に赴き、次いで盤谷より安南の海防及河内に到り、此の旅行に約三個月を費した。代表團の任務とする所は華僑狀況の調査及華僑組織として泰國在留安南在留華僑分會或は支會設立の委託とであつた。

本年二月、東亞聯盟中國總會成立するや、前中華東亞聯盟協會は東亞聯盟廣州分會と改稱することになつたが、本會は廣東が地理上佛印、泰國、南洋各地と接近するのみならず是等各地に在留する華僑も多數を占むるので總會の命を奉じて海外會務を兼ねて取扱ふことになつた。茲に於て本會は海外に對する工作を更に積極的に推行することとし、泰國各地は特殊的环境に在る關係上、秘密に活動する外ないが、安南の如きは本年六月、林珈珉

同志を東亞聯盟廣州分會安南總支部準備主任に任命し、海外工作を進めることにした。爾來、安南を中心となして積極的に活動を開始したのであるが、その成果如何は何れ後日詳細發表されることにならう。

十 廣東學生聯盟の組織

學生は將來に於ける社會國家の中堅人物たるが故に、その思想行動に對しては特に深甚の注意を拂ふ必要がある。本會は廣東全省學生をして東亞聯盟運動の傘下に一致集中せしめ、その步調を整備するため「東亞聯盟廣東學生聯盟本部」を組織することに決定したのである。尙ほ本會内に學生聯盟運動指導委員會を設け、指導委員十三人を置くことにしたのであるが、本會高級職員四人が參加する外、其他は省立、市立、私立の大學、中學の教務長或は訓育長より人選して招聘、組織に參加せしめ以て指導上に於ける圓滑なる運行を圖らんと欲するものである。現在學生聯盟運動指導委員會及學生聯盟運動本部は既に成立

を告げ、各學校支部も亦組織の完成を見るに至り、今後は青年學生の思想と行動とを合法的に指導して積極的に東亞聯盟運動に加擔せしむるにある。

十一 結

論

之れを要するに、東亞聯盟運動の綱領は國父孫中山先生の唱へたる大亞細亞主義と符合するのみならず近衛聲明の精神と全然相同じく、又滿洲國建國以來十年間に互に提唱せられたる民族協和運動とも相通するものにして、此の運動に従ひ前進するならば、事變の迅速なる解決を促し得べく、中日親善、東亞和平の建設に裨益するところ鮮少ならざるものがある。本會同人は去秋中華東亞聯盟協會が廣東に成立せられしより以來此の所信に基き日本の東亞聯盟運動の同志と遙に相呼應し身を挺して東亞聯盟運動發展のために奮闘したのであつた。然るに數箇月の間に此の運動は恰も燎原の火の如く全國に擴がり、全國の東亞聯盟運動を統一するところの東亞聯盟中國總會が本年二月南京に於て成立を見たので

ある。因つて本會は總會の成立に随つて地方分會と化したとは云へ、その精神は一貫して終始毫も變改する所はない。本會同人は今後唯だ汪會長指導の下に更に積極的に本運動の進展に努め以て東亞聯盟の實現を期することを信じて渝らざるものである。

又た本會成立以來、政府當局及現地友邦各長官の熱心なる賛助を蒙り更に日本朝野の人士及日本、北支、中支各地に於ける東亞聯盟運動同志の甚大なる助力を得、本會々務をして日に隆昌ならしめたことに就いては實に同人等の感激して措かざる所である。吾人は東亞聯盟運動が中日兩國の人達が各その國家を愛し東亞を愛するの心に基づき相提携して之れが發展を圖り其將來の成功を期するものなるを相信じて疑はざる所である。吾人は唯だ今後「熱」と「力」とを以て本運動のために最大の努力を致し内外各方面の囑望に酬ひんとするもので各界人士の指導を興へられんことを希求して止まない。最後に吾人は謹んで汪精衛會長が本年六月二十一日東京に於て記者團に接見發表したる談話を茲に採録することにしたが、汪會長の意見は亦吾人の遵奉する所不變不動の信念である。

問 東亞聯盟運動の主義と近衛聲明との關聯性如何、この運動の重慶抗日派に對する影響如何。

答 (一)吾人が先づ民族主義を知り又大亞細亞主義を理解するならば自ら此の出發點は明白にして兩主義は即ち東亞聯盟の基礎となるであらう。三民主義は國父の創造する所、大亞細亞主義は國父の主張する所にして民族主義の目的は帝國主義より解放するにある。此の目的の下に友邦日本と聯合にして共に解放に向つて邁進するが大亞細亞主義である。(二)近衛聲明には三項がある即ち善隣友好、共同防共、經濟提携にして東亞聯盟の要義は政治獨立、軍事同盟、文化溝通、經濟提携なるを以て近衛聲明と全然相同じい、然らば何故に東亞聯盟運動を起したか、この疑問に對して答へんに、東亞聯盟は近衛聲明を實行せんとする運動にしてこの運動を強力に展開する爲に團體を結成したる所以である。近衛聲明の文化軍事經濟を實現することが東亞聯盟の精神とする以上、東亞聯盟は決して超國家的組織でなく、各國政府を代表する理事會を組織することに於て政治、

軍事、文化の一致を圖らんとするにある。(三)東亞聯盟運動は重慶抗日派をして豁然覺醒せしむるものなるを確信するものにして和平運動に参加し親日派に轉向する者の多く續出するは其の事實を示すものでなる。抗日派の理論とする點は中日兩國は絶對に共存する能はずとなすにあるが、然し東亞聯盟は此事が可能性を有するを證するものである。故に抗日派は必らず之れにより昨非を悟り轉向することにならう。

問 東亞聯盟運動の中國に於ける發展性及日本の興亞國民運動に對する見解如何。
答 (一)現在の東亞聯盟は今尙ほ僅に思想運動なるに止まつてゐる、之れを換言すれば東亞聯盟は大亞細亞主義の實現、東亞新秩序の建設、近衛聲明の實現を圖るべく是等を闡明する所の一種の啓蒙運動である。(二)貴國の興亞國民運動は共存共榮の思想上に於て各團體は必ず一致することにならうが、東亞聯盟運動と大亞細亞主義の目的とは相同じい、故に最も良好なるは東亞聯盟運動と興亞國民運動とを聯合する所の機關を設くることである。

中華民國三十年八月一日印刷
中華民國三十年八月四日出版

發行者 東亞聯盟廣州分會

廣州市漢民北路五號

印刷者 清水梅太郎

廣州市長堤新墳地一號

印刷所 廣東迅報社

廣州市長堤新墳地一號

